

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587046101	科目番号 / Subject code	05870461
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14321_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (世界と日本の文化交流) / Cross Cultural Exchange Between Japan and the Rest of the World		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki, 王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hideakisuzuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	総研棟11階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2941		
担当教員オフィスアワー / Office hours	必ず事前に連絡すること。アポイントなしの訪問は一切受け付けない。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	奴隷制廃止は19世紀初頭から20世紀前半のあいだに世界のほとんどの地域で法的に消滅する。約1世紀半という時間は、それまで奴隷制が歩んできた長大な時間と比べれば驚くべき短さである。この世界的な共通体験は、往々にして、イギリス発の現象として捉えられる傾向が強い。しかし、近年では、一定程度のイギリスの影響を「グローバル」なひとつの要因として認めながらも、他方で「ローカル」な諸要因にも注目が集められつつある。この講義では、奴隷制廃止という世界的な共通体験に関連する日本の経験をこれら一連の共通体験の中に組み込むことを目的とする。		
授業到達目標 / Goal	世界史的な視野で物事を考える方法の獲得。つまり、ある時間幅における水平(空間)的な展望とある空間幅における垂直(時間)的な展望を掛け合わせて物事を考察できるようにすること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義を主体とする。ただし、授業中の質疑は随時受け付ける。課題を毎回、課し、そのフィードバックを随時行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	世界史、グローバル化、奴隷、奴隷制廃止		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	講義関連の資料はすべてLACSで配布する。また、参考書などは授業中に適宜紹介する。参考文献としてHideaki Suzuki (ed.) Abolitions as a Global Experience, Singapore: NUS Press, 2016.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	課題、授業への積極的な参加 (100%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	世界史的共通体験としての奴隷制廃止		
第2回	奴隷とは何か?		
第3回	環大西洋ネットワークと奴隷		
第4回	啓蒙思想と奴隷制		
第5回	環大西洋ネットワークと奴隷制廃止		
第6回	ハイチ革命		
第7回	フランスにおける奴隷制の廃止と復活		
第8回	イギリスにおける奴隷制廃止とイギリス国民の誕生		

第9回	インド洋奴隷交易と海の覇権
第10回	植民地支配と奴隷制
第11回	非公式帝国と奴隷制廃止
第12回	タイと日本における奴隷制廃止
第14回	国際社会による奴隷制廃止とエチオピア
第15回	奴隷の代替労働力としての契約労働者
第16回	まとめ

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587046302	科目番号 / Subject code	05870463
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14331_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (芸術で見る世界と日本) / The World as Seen Through the Arts		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	王 維 / Wan Uei, 廖 赤陽 / Liao Chiyang		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wangw@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部 1号館 1階王研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: wangw@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	地球に暮らすあらゆる民族は、異なる自然環境、言語や宗教或いは歴史や社会などの環境に対応し、周辺の民族と交流しながら、その社会でのアイデンティティに支えられた固有の祭礼、芸能や音楽をもってきた。民族音楽学や世界音楽などの見方から、東アジア地域を中心とする多彩な祭礼、芸能や音楽を通して様々な世界を見る視点を学ぶ。特に以前から外国文化(芸能・音楽)を受容してきた長崎の事例を紹介することで、地域から異文化交流の視点を理解する。		
授業到達目標/Goal	芸術(祭礼・芸能など)で見る世界と日本というテーマに関する基礎的知識を習得する。 グローバルの視点から、多様な世界と日本を理解する。 異なる音楽文化を通して、広い視野から世界を見る能力を養う グローバルの視点から長崎地域文化の土壌の形成を認識できる		
授業方法(学習指導法)/Method	1. 授業は主に講義形式で行うが、長崎の事例を含めたテーマに関連する写真の資料やビデオなどの視覚教材も利用する。 2. 常時に感想、質問、疑問などを小レポートにまとめてもらい、それにもとに質疑応答やテーマに関する議論をしたい。受講生には自分なりの問題発見、問題調べなど学習意欲を持って望むことが求められる。		
授業内容/Class outline/Con	激動する国際社会のなかで民族という言葉がキーワードの一つとなり、諸民族の音楽文化もより広く関心をもたれるようになってきた。今、グローバル化のなか、社会全体に国際理解が重要視されているが、世界の音楽文化も異文化理解の手がかりとしてその重要性が増していると考えられる。本授業は民族音楽学及びそれに関連する理論を総観したうえ、音楽、文化、社会そして民族の視点、東アジア地域を中心に諸民族の音楽文化の事例を通して、民族にとって音楽とは何か、諸民族がつちかかってきた「知」の体系に音楽がどんな役割をはたしているのか、なぜ音楽文化が異文化交流や異文化理解の重要な手がかりになるのか? などについて検討し、音楽の側面から世界を理解する視点を学ぶ。 特に地域研究の視点から長崎に伝播され受容された外国文化(異文化、芸能音楽)を取り上げる。 第1回 導入 東アジア文化圏 長崎の自然社会文化的環境 第2回 理論編(1) 音楽を見る視点: 音楽学?比較音楽学?民族音楽学 などについて、(2) 諸民族の音楽様式(3) 楽器のハードウェアとソフトウェア(4) 伝承と記述(楽譜) 第3回 地域編: 比較の視点から、中国の伝統音楽・芸能、モンゴル、朝鮮半島の音楽・芸能 第4回 第5回 第6回 日本伝統芸能と音楽 長崎の外国文化と芸能、文化の伝播・受容・変容: 西アジア起源とする楽器 第7回 移動・文化交流による音楽文化のグローバル化 定期試験		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	音楽、異文化交流、芸能、アイデンティティ、民族(エスニック)、長崎、地域文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	徳丸吉彦『民族音楽学』放送大学教育振興会、1991年。『民族音楽理論』1996年 藤井知昭他編『民族音楽概論』東京書籍、1992年 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』音楽之友社、1999年 王維『日本華僑社会における伝統文化とエスニシティの再編』風響社、2001 山口修『応用音楽学』放送大学教育振興会、2000年 その他、随時紹介		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	試験及び課題レポートの得点統計に出席率を掛けたもので判定する。試験50% レポート50%。欠席した授業内容にかかるレポートの提出は受け付けない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「すべての民は音楽的思考を行う」という言葉を聞いたことがありますか。この授業を通して世界、そして身近の社会を見るもう一つの見方を考えましょう
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序説 東アジアの文化圏
第2回	理論編(1)音楽を見る視点：音楽学?比較音楽学?民族音楽学などについて
第3回	(2) 諸民族の音楽様式
第4回	(3) 楽器のハードウェアとソフトウェア
第5回	(4) 伝承と記述(楽譜)について
第6回	地域編：比較の視点から (1) 中国・漢民族?歴史の概観、劇音楽
第7回	中国・漢民族?歌舞音楽と曲芸音楽(語り音楽)
第8回	中国・少数民族-多彩な芸能と音楽
第9回	(2) 日本の伝統芸能：歌舞伎と芝居小屋 中国の劇音楽と比較しながら...
第10回	(3) 朝鮮半島音楽の語り音楽
第11回	(4) モンゴル音楽の諸相
第12回	(5) 文化の伝播・受容・変容：西アジア起源とする楽器 (中国と日本)
第13回	移動・文化交流による音楽文化のグローバル化 (1) 世界に舞う獅子舞・龍踊り
第14回	(2) 世界に響く和太鼓
第15回	まとめ：
第16回	試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587046501	科目番号 / Subject code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14341_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto, 王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	南 誠 / Minami Makoto		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lsk-minami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール(lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp)連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標/Goal	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。		
授業内容/Class outline/Con	本授業ではまず人の移動に関する理論的な視点と国際移民の現状を概観した上で、アジアと日本に焦点を定めて、日本人海外移民の歴史、その移動によってもたらした影響や、日本に住む外国籍住民の歴史と現状、および、日本型多文化共生社会構築の試みについて講義する。講義の中では、日本以外の国との比較検討や、グループワークでの議論も視野に入れて進める予定である。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	グローバルイゼーション、国際移民、エスニシティ、ディアスポラ、社会的包摂と排除、多文化共生、境界文化、歴史記憶、東アジア共同体		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	最終レポート(50%)、授業および討論への参加度(50%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	「人の移動」の概説		
第2回	日本人移民の略史		
第3回	日本をめぐる人の移動(戦前編)		
第4回	日本をめぐる人の移動(戦後編)		
第5回	日本人移動の影響?文化編(東アジアの場合)		
第6回	日本人移動の影響?歴史・記憶編(東アジアの場合)		

第7回	日本人移動（本国帰還）の影響（日本の場合）
第8回	日本を生きる外国住民（在日コリアン）
第9回	日本を生きる外国住民（中国系）
第10回	日本を生きる外国住民（日系？）
第11回	日本を生きる外国住民（難民と無国籍者）
第12回	日本を生きる外国住民（その他）
第13回	日本型多文化共生社会の試み
第14回	地域社会と移民コミュニティ
第15回	総括